



Cochlear Ltd (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove NSW 2066, Australia
Tel: 61 2 9428 6555 Fax: 61 2 9428 6352

Cochlear Americas
400 Inverness Parkway
Suite 400
Englewood CO 80112
USA

Tel: 1 303 790 9010
Fax: 1 303 792 9025

Cochlear GmbH
Karl-Wiechert-Allee 76A
D-30625 Hannover
Germany

Tel: 49 511 542 770
Fax: 49 511 542 7770

Cochlear Europe Ltd
22-24 Worple Road
Wimbledon
London SW19 4DD
United Kingdom

Tel: 44 20 8879 4900
Fax: 44 20 8946 9066

株式会社日本コクレア
〒113-0033
東京都文京区本郷 2-3-7
お茶の水元町ビル

Tel: 81 3 3817 0241
Fax: 81 3 3817 0245

www.cochlear.com

Nucleus®
COCHLEAR IMPLANT SYSTEM

取扱説明書
ESPririt™ 3G
スピーチプロセッサと付属品



Nucleus® 人工内耳システム

ESPrit™ 3G
スピーチプロセッサと付属品

取扱説明書

製品番号 : N30194F ISSI

目次

ESPrit 3G スピーチプロセッサ	5
上部スイッチ	6
下部スイッチ	6
モードの設定	6
ジョイント用ソケットの使用	8
電池カバー	9
電池カバーの取り外し	9
シリアル番号の確認	9
イヤフック	10
イヤフックの選択	10
イヤフックの交換	10
ESPrit 3G 水滴防止用力カバー	11
チタン製イヤフックおよびイヤモールド用イヤフックに使用する	12
ソフトカバーの付いたイヤフックに使用する	13
ケーブル付き送信コイル	14
磁石の交換	14
ケーブル付き送信コイルの交換の禁止	14
ケーブル付き送信コイルのESPrit 3G への取り付け	16
電池	17
電池の選択	17
電池の交換	18
 付属品	21
ジョイント	22
ジョイントの使用	22
付属品の使用	24
 お手入れとメンテナンス	27
清掃	27
体外機器の清掃	27
マイクロホンの清掃	27

長期保管.....	28
注意事項、禁止事項.....	28
化粧品やヘアスプレーの使用	28
砂やゴミの侵入	28
水の浸入	29
トラブルシューティング	31
概要.....	31
プログラム	31
聞き取り環境	31
電磁波干渉	32
その他の要因	33
故障箇所の切り分け手順.....	33
スイッチ類	34
電池	34
ケーブル付き送信コイル.....	35
マイクロホン	35
接続した付属品	36
水分	36
動作確認用付属品.....	36
コイル信号チェッカ.....	36
モニタイヤホン	37
その他の情報	39
認可および適用基準.....	39
国際表示記号.....	40

ESPrít™ 3G スピーチプロセッサ

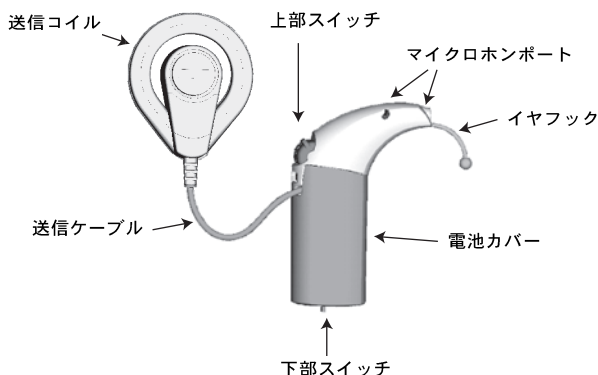


図 1 : ESPrít 3G スピーチプロセッサ

ESPrít™ 3G スピーチプロセッサは、Nucleus® 24 または Nucleus® 22 人工内耳の装用者にご使用いただけます。両スピーチプロセッサの違いはケーブル付き送信コイルにあります。詳しくは本書の「ケーブル付き送信コイル」の項をご確認ください。

保証書は、ドキュメントパックに同封されています。

同じくドキュメントパック中に同封の登録カードにご記入の上、30 日以内にコクレア社までご返送くださるようお願い申し上げます。

また、装用者カードにも必要事項をお書き込みの上、常に携帯されるようお勧めいたします。

上部スイッチ

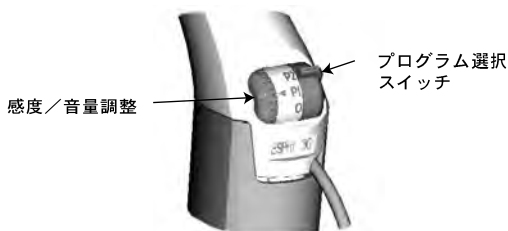


図 2：上部スイッチ

感度／音量調整をマイクロホン感度調整用に設定すると、マイクロホンから入力される音のレベルを調整できます。音量調整用に設定すると、聞こえる音の大きさを調整できます。

下部スイッチ



図 3：下部スイッチ

モードの設定

特定のモードの設定には、ESPrIt 3G 本体底部にあるモード設定スイッチを動かして必要な設定にしてください。

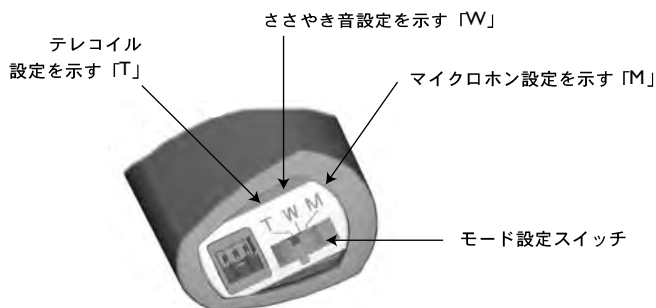


図 4：モード設定

マイクロホン設定

通常は、マイクロホン設定を示す「M」の位置にセットします。この設定は、特定の条件ではない場合や通常の聞き取り条件の場合に使用します。

ささやき音設定

ささやき音を示す「W」にセットすると、小さい音の聞き取りが向上します。

内蔵テレコイル設定

「T」設定にすると、ESPrIt 3G の内蔵テレコイルが作動します。プログラムによってテレコイルだけを作動させることも、テレコイルとマイクロホンの両方を作動させることもできます。

内蔵テレコイルを使うと、補聴器対応電話機、磁気ループを設置してある部屋、ネックループやクッションループのようなパーソナル磁気ループなどからの音声信号を受信できます。パーソナル磁気ループは、市販品として入手できます。

磁気ループは、アンプ、テレビ、Hi-Fi 機器からの音声信号をテレコイルに伝えることができます。

ジョイント用ソケットの使用

ジョイントは、ESPrIt™ 3G 本体底部にあるソケットに差し込んで使用します。

ジョイントを使用しないときは、ソケットにカバーをかぶせておいてください。

注意：

取り外したソケットカバーは、安全な場所に保管してください。このような小さな部品は飲み込むと危険で、吸い込むと窒息の恐れがあります。



電池カバー

電池カバーの取り外し

両側をはさんで持つ。

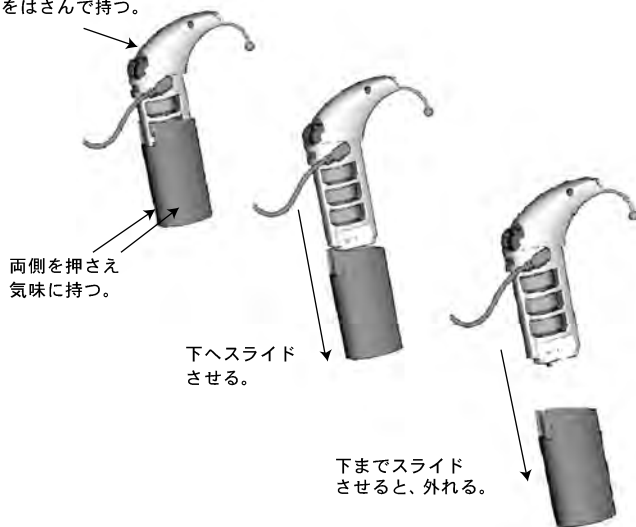


図 6：電池カバーの取り外し

シリアル番号の確認

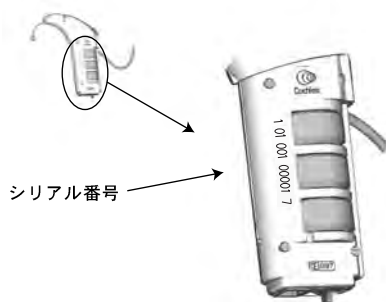


図 7：シリアル番号

イヤフック

イヤフックの選択

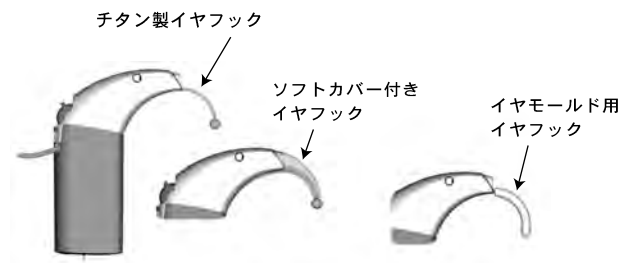


図 8：各種イヤフック

イヤフックの交換

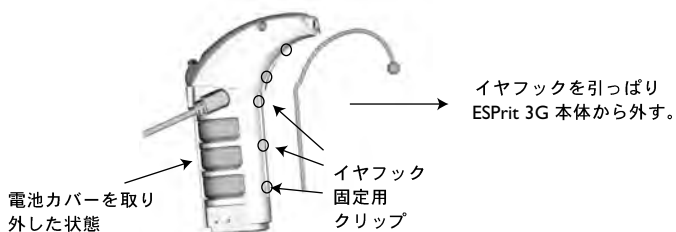


図 9：イヤフックの取り外し

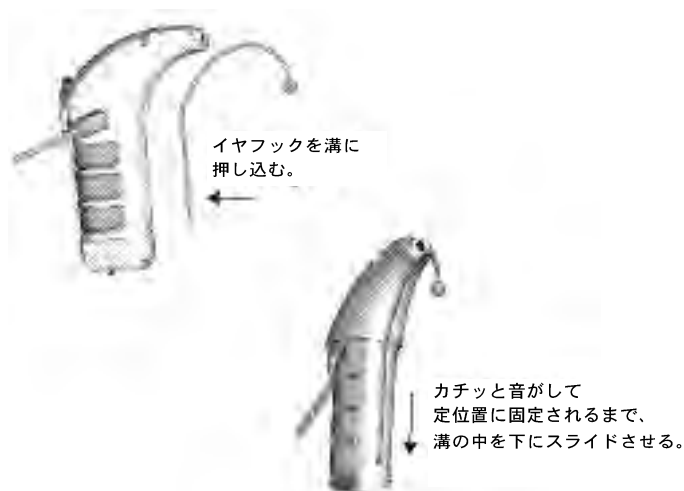


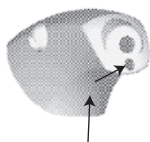
図 10 : イヤフックの交換

ESPrIt™ 3G 水滴防止用カバー

この水滴防止用カバーは、ESPrIt 3G を水分や湿気から守ります。アクティブなスポーツを行う場合や、高湿な地域にお住まいの場合、または多汗の方に特に有効です。

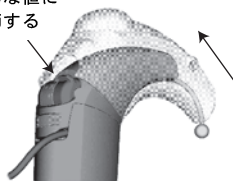
水滴防止用カバーは毎日ご使用ください。就寝前に水滴防止用カバーを ESPrIt 3G から取り外し、乾燥剤と共に専用ケースに入れて乾かしてください。

水滴防止用カバーをチタン製イヤフックおよび イヤモールド用イヤフックに使用する



水滴防止用カバーの下の方の
穴からイヤフックを通す

スイッチを
適切な値に
調節する



上部スイッチを
おおう

水滴防止用カバーについている穴の位置が
マイクポートの穴の位置と合っているかを
確認する。

水滴防止用
カバーを
ひっぱり
ESPrIt 3G に
すっぽり
かぶせる

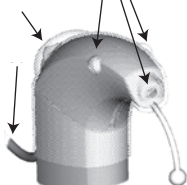


図 11 : チタン製イヤフックでの取り付け

水滴防止用カバーをソフトカバーの付いたイヤフックに使用する

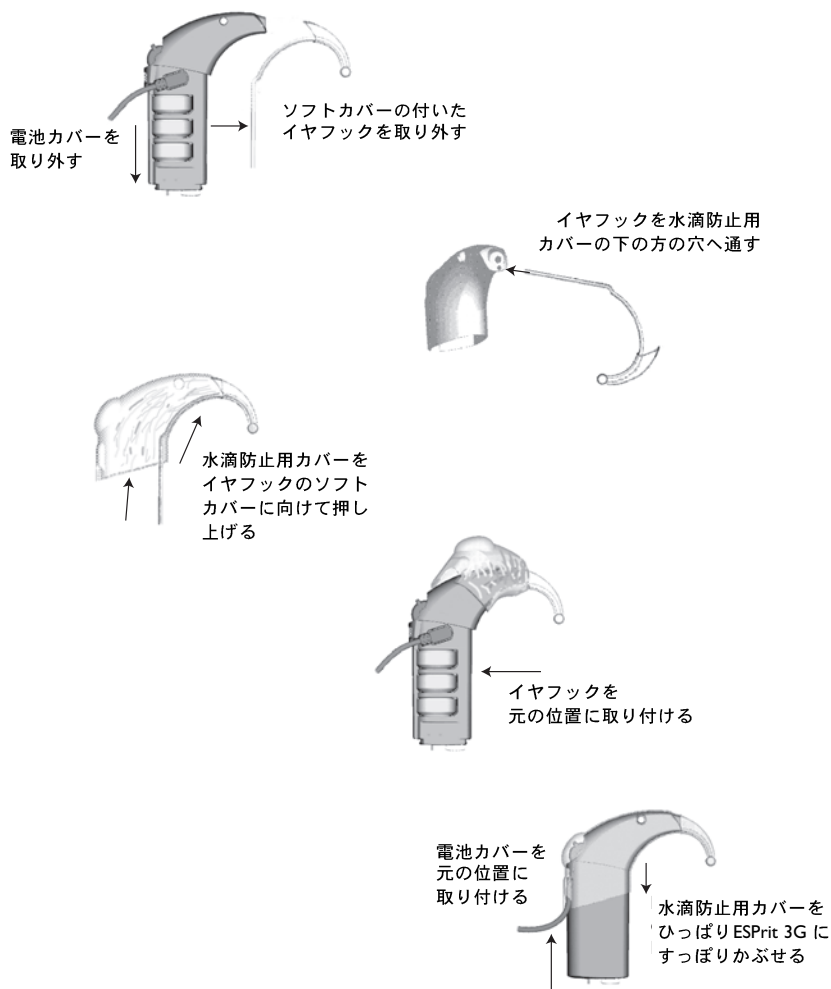


図 12 : ソフトカバー付きイヤフックでの取り付け

ケーブル付き送信コイル



図 13 : ケーブル付き送信コイル

磁石の交換

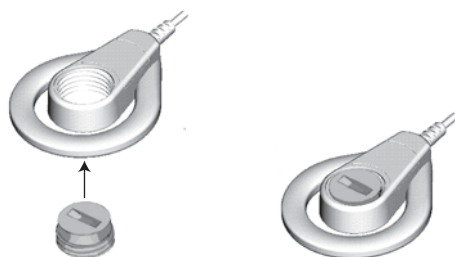


図 14 : 磁石の挿入

磁石が頭部に近ければ近いほどしっかりと固定され、逆に離れるほどゆるくなります。

ケーブル付き送信コイルの交換の禁止

ケーブル付き送信コイルを、他の種類のインプラントまたは他の種類のスピーチプロセッサと交換することはできません。

つまり、Nucleus 24 コクレアインプラントの装用者は Nucleus 24 専用のケーブル付き送信コイルを、そして Nucleus 22 コクレアインプラントの装用者は Nucleus 22 専用のケーブル付き送信コイルを使用しなければなりません。同様に、ESPrIt 3G 専用のケーブル付き送信コイルを他のいかなるスピーチプロセッサに使用してはいけませんし、逆に ESPrIt 3G 専用でない送信コイルを ESPrIt 3G スピーチプロセッサに使用してもいけません*。

図 15 : Nucleus 24 人工内耳専用
ケーブル付き送信コイル



図 16 : Nucleus 22 人工内耳専用
ケーブル付き送信コイル



* いかなる国においても、Nucleus 24 用の ESPrIt 3G を Nucleus 22 装用者に使用することはできません。

注意：

マグネットの強さを変更したいときは、病院の先生に相談してください。磁力が弱くなりすぎるとコイルが脱落し、強くなりすぎると不快感や皮膚の炎症が生じます。

予備のマグネットは安全な場所に保管してください。小さな部品は飲み込むと危険で、吸い込むと窒息の恐れがあります。

ケーブル付き送信コイルの ESPrIt 3G への 取り付け



図 17 : ケーブル付き送信コイルの取り付け

電池

電池の選択

ESPrit 3G は、高出力補聴器用空気亜鉛電池（ボタン電池）を3個使用します。この高出力補聴器用空気亜鉛電池の使用をお奨めしますが、高湿・低温条件下では酸化銀電池（SR44）の方がより確実に使用できる場合があります。

必ず病院の先生またはコクレア社が推奨する電池を使用してください。他の電池を使うと、ESPrit 3G が適切に機能するための十分な電力が得られない場合があります。

警告：

電池を飲み込むと危険です。電池は、必ず小さい子供の手の届かない場所に保管してください。電池を飲み込んだ場合は、直ちに最寄りの救急医療センターまたは毒物情報センターで適切な処置を受けてください。

備考：

ESPrit 3G は、新しい電池3個で動作します。消耗した電池が1つでもあるとプロセッサが停止します。消耗した電池を交換するときは、必ず3個まとめて交換してください。

高出力補聴器用空気亜鉛電池は、通常シールでカバーされています。



図18：高出力補聴器用空気亜鉛電池

電池内部に空気を通すため、シールを剥がした後5分以上経過してから電池をプロセッサに装填してください。

酸化銀電池 (SR44) には穴がなくシールも付いていないため、内部に空気を通す必要はありません。ご使用の電池の取り扱い表示や使用上の注意に従ってください。

電池の交換

電池の残量が少ないことを知らせる警告音が聞こえたり、あるいは今まで聞こえていた音が聞こえなくなったり途切れ出したら、電池の交換が必要です。詳しくは、トラブルシューティングの項を参照してください。

消耗した電池は直ちに取り外してください。空気亜鉛電池は、長期間実装したままにすると腐食して液が漏れ出すことがあります。この液は、ESprit 3G を痛める原因となります。

電池の交換は次のように行ってください：

1. シールを剥がし、電池を5分間放置して空気にさらします。
2. スピーチプロセッサのスイッチを切ります。
3. 電池カバーを外します（電池カバーはESprit 3G 本体の下側へスライドさせます）。電池カバーの取り外しの項を参照してください。

4. ESPrit 3G 本体を一方に傾けて、消耗した電池を取り出します。電池は一方向にしか取り出せません。

電池は、電池カバーで軽く押せば簡単に取り出すことができます。あるいは、送信コイルのマグネットを使って電池を吸着させてください。

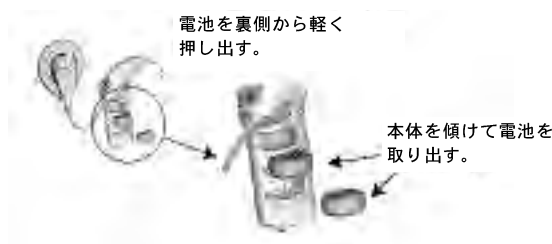


図 19 : 電池の取り外し

5. 清掃ブラシを使って電池の収納部や接点を定期的に清掃して、プロセッサ内部にほこりをためないようにしてください。研磨材やナイフの刃は絶対に使用しないでください。
6. 新しい電池を定位置に装填します。
7. 電池カバーを下側から本体にかぶせ、クリップがかみ合うまで上にスライドさせて固定します。

電池は、次の状態でないと正しく装填できません：

- ・ 送信コイルの取り付け側から装填している。
- ・ 電池の＋端子（穴の開いた側）が上を向いている。

備考：

使用済み電池は、お住まいの地域の規則に従って廃棄してください。

付属品

ESPrít™ 3G には、ジョイントを使って次の付属品や補聴機器を接続することができます。

- ・ 騒音下での聞き取りを向上させるラベルマイクロホン
- ・ FM システムから ESPrít 3G へ音声信号を送信する FM ケーブル
- ・ テレビ、ステレオ、パソコンを ESPrít 3G に接続する TV/Hi-Fi ケーブル
- ・ 電池で作動する機器を ESPrít 3G に接続するオーディオ接続ケーブル
- ・ 周囲の雑音により内蔵テレコイルで音声処理できない場合に用いる外付けテレコイル

備考：

上記の付属品（機器）は、一部の地域では販売されていません。

また、次のワイヤレス補聴機器もご使用になれます：

- ・ 磁気ループシステム
- ・ FM システム
- ・ 赤外線 (IR) システム

内蔵テレコイルは、磁気ループシステムに対応しています。

FM、TV/Hi-Fi、またはオーディオ接続ケーブルを使用すると、特にプログラムしない限り、ESPrit 3G マイクロホンとこれらの機器の両方から同時に音が聞こえます（オーディオミキシング効果）。音量／感度調整を使って入力音声を最適なバランスに調整してください。

ジョイント

ジョイントの使用

ジョイントは、ESPrit 3G 本体底部にあるソケットに差し込んで使用します。

ジョイントには、次のものが接続できます：

- ・ ケーブルアダプタ
- ・ ラベルマイクロホン
- ・ FM ケーブル
- ・ 外付けテレコイル

FM ケーブルについては、コクレア社までご連絡ください。

ケーブルアダプタにはTV/Hi-Fi ケーブルやオーディオ接続ケーブルを接続することができます。

モニタイヤホンは、マイクロホンが正しく機能していることを病院の先生、または家族や友人が確認するときに使用します。モニタイヤホンは、ジョイントの横にある3極ソケットに接続して使用します。

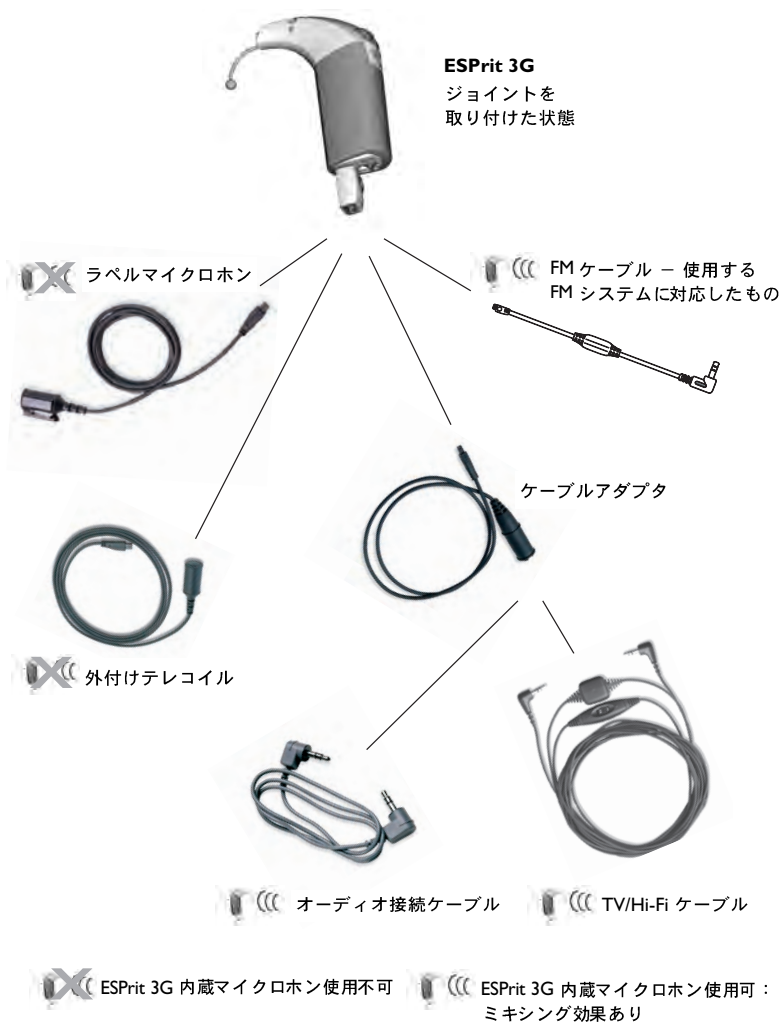


図 20 : 付属品の接続方法一覧

付属品の使用

ESPrit 3G のスイッチを「オフ」にした後、付属品の取り付け／取り外しを行います。付属品の取り付け／取り外しが終了したら、再びスイッチを「オン」にします。これによって、ESPrit 3G 内部の機能がセット／リセットされます。

付属品の使用について：

1. ESPrit 3G のスイッチをオフにして（上部スイッチ）、プロセッサ本体を外します。

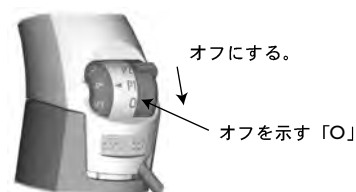


図21：ESPrit 3G のスイッチの切り方

2. ESPrit 3G 本体底部にあるジョイント用ソケットからソケットカバーを外します。

注意：

取り外したソケットカバーは、安全な場所に保管してください。このような小さな部品は飲み込むと危険で、吸い込むと窒息の恐れがあります。

3. ESPrit 3G 本体底部のソケットにジョイントを差し込み、定位置に固定されるまで押し込んでください。



図22：ESPrit 3Gに取り付けたジョイント



図23：ジョイント

4. 付属品またはモニタイヤホンを取り付けます。
5. ESPrit 3G を再び頭に取り付けて、スイッチを P1 か P2 に入れます（上部スイッチ）。



図24：上部スイッチの再設定

6. 感度／音量調整を最初は 4 に設定します。ご自身に適した感度あるいは音量範囲は病院の先生とご相談ください。
7. 感度／音量調整で感度あるいは音量を上げたり下げたりして、お好みのレベルに合わせてください。

ESprit 3G がうまく機能しない場合は、一旦スイッチを「オフ」にして、5 秒待った後、再度「オン」にしてみてください。これによって、ESprit 3G が一度リセットされます。

お手入れとメンテナンス

清掃

体外機器の清掃

定期的な清掃を行って、プロセッサ内部にほこりがたまらないようにしてください。

付属の清掃ブラシを使って体外機器の内部・外部の部品を清掃します。特に、電池の接点は念入りに清掃してください。機器の外部はアルコールに浸した綿棒か、中性洗剤で軽く湿らせた布でそっと拭いてください。

マイクロホンの清掃

マイクロホンの集音部は、常にきれいで乾いた状態に保つよう心がけてください。水分とゴミの両方の侵入を防ぐことが大切です。

マイクロホンパフを使ってマイクロホンを定期的に清掃してください。また、ときどきESPrít™ 3Gを軽く振って水分やゴミを取り除いてください。

マイクロホンの集音部をより念入りに清掃する必要がある場合は、コットンボールまたは綿棒で開口部の端をそっと拭いてください。コットンボールや綿棒をマイクロホンの集音部の奥へ入れすぎないように注意してください。

注意：

マイクロホンの集音部の中へは絶対に鋭利な物体を差し込まないでください。マイクロホンの振動板が永久に損傷する恐れがあります。

長期保管

ESPrít 3G を使用しないときは、次のように保管してください：

- ・ 電池の収納部から電池を取り出す。
- ・ ESPrít 3G 本体と送信コイル・送信ケーブルを乾燥剤といっしょに専用ケースに入れる。

注意：

空気亜鉛電池を長期間実装したままにすると、腐食した液が漏れ出してESPrít 3G を損傷させることがあります。

電池の漏れによる損傷を防ぐため、次の点に注意してください：

- ・ 消耗した電池は直ちに取り出す。
- ・ ESPrít 3G を長期間使用しない場合は、保管する前に本体から電池を取り出す。

注意事項、禁止事項

ESPrít 3G の損傷につながる注意、禁止事項を次に示します。対応処置を行っても問題が解消されない場合は、病院の先生またはコクレア社に連絡して修理を行ってください。

化粧品やヘアスプレーの使用

フェースパウダー、ファンデーション、ヘアスプレーを使用するときは、ESPrít 3G を外してください。化粧品やスプレーがESPrít 3G に付着すると、正常に作動しなくなる恐れがあります。

砂やゴミの侵入

ESPrít 3G や送信コイル内に砂やゴミが入らないように注意してください。入ってしまったときは、本体を軽く振って中の砂やゴミをできる限り取り出してください。

水の浸入

人工内耳システムの体外機器を着けたままシャワーやお風呂に入らないでください。水による損傷の修理は保証の範囲外とさせていただきます。

水中に落としたら

スピーチプロセッサを水中に落としてしまったら、損傷を最低限に抑えるために直ちに次の処置を行ってください：

1. 電池を取り出す。
2. 汚水または海水に落としてしまった場合は、流水（飲料水）に短時間さらして汚物・塩分を洗い流す。
可能ならば、ESPrít 3G が水中に落ちた方向とできるだけ同じ方向から流水をかけてください。
特に、塩分はESPrít 3G のマイクロホンやスイッチ類の損傷につながります。
3. 本体を軽く振って、できるだけ水分を振り落とします。
4. ESPrít 3G を乾燥剤といっしょに専用ケースに入れて乾燥させます。
5. ESPrít 3G 専用ケースを閉じて、一晩置きます。
6. 翌日スピーチプロセッサをテストして、音質をチェックしてください。

音質が劣化していたら、直ちに病院の先生またはコクレア社に連絡して損傷したESPrít 3G を修理してください。

トラブルシューティング

概要

ESPrít™ 3G の使用中にトラブルが発生した場合、その原因として次の要素が考えられます：

- ・ 人工内耳システム：ESPrít 3G、送信コイル・送信ケーブル、インプラント
- ・ ESPrít 3G のプログラム
- ・ 電磁波干渉など外部の聞き取り環境
- ・ 健康状態や耳鳴りなどその他の要因

これらについて問題があると、音が聞こえなくなる、または途切れることがあります。多くの場合、故障箇所の切り分け作業を行うことで問題が解消するか、または原因が判明します。これらの作業を行っても人工内耳システムに生じた問題が解消されないときは、病院の先生に連絡してください。

プログラム

あなたのプログラムは、病院の先生が設定します。プログラムは定期的にチェックしてもらい、必要に応じて調整してもらってください。

聞き取り環境

周囲の騒音が大きい場所では、小さい会話が聞き取りにくくなる場合があります。部屋の音響効果によるエコーや周囲の騒音は排除できないこともあります。

ささやき音設定にすると (ESPrIt 3G 本体底部のつまみを「W」に合わせる)、小さい会話音が聞き取り易くなる場合があります。

また、内蔵テレコイルや他の補聴機器を使うことで問題が改善することもあります。

電磁波干渉

ESPrIt 3G の送信ケーブルはアンテナとなって、周囲の電磁場から電磁波ノイズを拾うことがあります (電磁波干渉: EMI)。電磁波干渉を受けると、ブーンという音が断続的に聞こえたり、音が歪んだりします。

電磁波干渉は、様々な電気・電子機器によって生じます。

主な電磁波干渉源には、次のものがあります：

- ・ ラジオやテレビの送信塔
- ・ ショッピングセンターや空港のセキュリティシステム
- ・ コンピュータのモニタやテレビ画面
- ・ 特定のデジタル式携帯電話
- ・ ヘアドライヤーや電動かみそり
- ・ 電動工具

ブーンという音が断続的に聞こえたり音が歪んだりする場合は、電磁波干渉源となる電気機器が周囲にないか確認し、それらの機器から遠ざかってください。

その他の要因

上記以外にも、ESPrit 3G の性能とは関係のないさまざまな外部要因によって特定の状況下における会話音の理解に影響を及ぼすことがあります。例えば、次の場合が考えられます：

- ・ 耳鳴り
- ・ 病気や疲労を原因とする集中力の低下
- ・ 会話中における急な話題の変更
- ・ 話者の位置が適切でなかったりまたは照明が暗いため
に読唇を行うことができない場合

問題が続く場合は、病院の先生に連絡してください。

故障箇所の切り分け手順

次の手順に従って故障箇所を切り分けします。各ステップを終了する度に、音が聞こえるかどうかチェックしてください。

次の手順を行っても依然として音が聞こえない場合は、病院の先生またはコクレア社に連絡してください。

スイッチ類

次の手順でスイッチ類をチェックしてください：

- ・ ESPrít 3G のスイッチを約 5 秒間「オフ (O)」にした後、再び「オン (P1 または P2)」にします（上部スイッチ：O、P1、P2）。
- ・ 感度／音量調整を適正なところに合わせます（上部スイッチ）。
- ・ モード設定スイッチを操作して、現在の使用条件に合った正しい設定にします（下部スイッチ：T、W、M）。

電池

次の手順を行って電池の動作をチェックしてください：

- ・ 音が途切れる、または途絶える時は、ほとんどの場合電池が消耗しています。電池を交換してください。
- ・ 付属の清掃ブラシを使って電池の接点を清掃してください。
- ・ 新品の高出力補聴器用空気亜鉛電池を使用する場合は、必ず保護シールを剥がした後 5 分待ってから ESPrít 3G 本体に装填してください

備考：

1 個でも電池が消耗すると、ESPrít 3G は音声信号の送信を停止します。

空気亜鉛電池は、極度の低温または高温条件下では動作しなくなることがあります。このような環境では、酸化銀電池の使用をお奨めします。

ケーブル付き送信コイル

次の点を確認した後、ケーブル付き送信コイルの動作をチェックしてください：

- ・ 送信コイルがインプラント上の正しい位置にあるか。
- ・ 送信コイルが損傷していないか。
- ・ 送信ケーブルに曲がり、ねじれ、磨耗、折損がないか。
- ・ 送信ケーブルのプラグが ESPrit 3G 本体のソケットにしっかり挿入されているか。

音声信号が送信されない場合は、ケーブル付き送信コイルを交換し、音が聞こえるかどうかチェックしてください。

依然として音声信号が送信されないときは、コイル信号チェッカを使ってシステムをテストしてください。詳しくは、コイル信号チェッカの項を参照してください。

マイクロホン

マイクロホンからの音質が良くない場合は：

1. マイクロホンパフを使って水分を除去します。
2. ラベルマイクロホンを接続して動作させます。音質が改善されるようであれば、ESPrit 3G のマイクロホンが故障していますので、ESPrit 3G の修理が必要です。一時的な措置としてラベルマイクロホンを引き続き使用すると良いでしょう。
3. 友人、親、保護者など健聴者に、モニタイヤホンを使ってマイクロホン（音の出力）をチェックしてもらいましょう。詳しくは、モニタイヤホンの項を参照してください。

それでも音質が適切でない場合は、病院またはコクレア社にご相談ください。

接続した付属品

接続した付属品から音が聞こえない場合は、上記の操作を行うと共に、次の点をチェックしてください：

- ・ 付属品とケーブル類が適切に接続されているか。
- ・ 接続した機器のスイッチが「オン」になっており、設定が適切か。
- ・ ESPrit 3G のスイッチを「オフ」にした後再び「オン」にして、ESPrIt 3G に付属品が接続していることを確実に認識させてください。

水分

柔らかいきれいな布で水分を除去します。電池のカバーや接点、送信コイル等、ESPrIt 3G の各部品を拭いてください。

ESPrIt 3G を乾燥剤といっしょに専用ケースに入れて、完全に乾かしてください。

動作確認用付属品

コイル信号チェッカ

コイル信号チェッカを使用することにより、送信コイルが皮膚を通して正しくインプラントに信号を送信しているかどうか調べることができます。

信号の確認方法：

1. ESPrit 3G 本体を頭部にセットしてスイッチを「オン」にし、通常のプログラム設定を選択します。
2. コイル信号チェッカを送信コイルの上にかざします。



図 25：コイル信号チェッカ

送信コイルが信号、つまり「音」を送信していれば、コイル信号チェッカの中央にある赤いランプが点灯します。

中央の赤いランプが点灯しなければ、送信コイルから信号が出ておらず、人工内耳システムが故障しています。前述の故障箇所の切り分け手順に従って、故障原因を判断してください。

モニタイヤホン

コクレア社は、ESPrIt 3G マイクロホンのモニタイヤホンを（特定の国で）付属品として販売しています。

モニタイヤホンを使うと、ESPrIt 3G のマイクロホンおよび内部アンプが受信する音を健聴者が確認することができます。このイヤホンは、子どもがESPrIt 3G を装着している場合、マイクロホンが拾った音の確認に特に有効です。

備考：

ESPrIt 3G のモニタイヤホンは、マイクロホンが音を拾っているかを調べるために使用できます。プロセッサで「音声処理された」音をこのイヤホンで「聞く」ことはできないため、音質の評価、あるいは装用者が聞いている音声処理後の音を再現することはできません。

モニタイヤホンの使用方法：

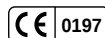
1. ESPrIt 3G をオフにします。
2. ESPrIt 3G 本体底部にジョイントを取り付けます。
3. ジョイント側面のソケットにモニタイヤホンを取り付けます。
4. 健聴者が耳にモニタイヤホンをセットします。
5. ESPrIt 3G を「オン」にします。
6. マイクロホンが音源より約 15 ～ 20 cm の位置になるようにし、調整つまみを「3」と「4」の間、または音が聞こえる位置に設定します。

モニタイヤホンから音が聞こえない場合は、病院の先生にご相談ください。

その他の情報

認可および適用基準

Nucleus[®] 22 と Nucleus[®] 24 インプラントシステムは、EC Directive 93/68/EEC によって最終修正された、Active Implantable Medical Devices 中の EC Directive 90/385/EEC の Annex 1 に記載された必要条件を満たしています。Nucleus[®] 22 システムは 1993/1999 年に、Nucleus[®] 24 システムは 1995/1996/2001 年に、Notified Body 0197 により Annex 2 に従って、CE-Mark の認可を受けています。



国際表示記号

ESPrít™ 3G スピーチプロセッサ本体、ならびに ESPrít 3G の各構成機器および外箱には、下表の記号が表示されています。

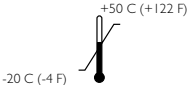
記号	意味
	取扱説明書を参照
	壊れ物
	温度制限
	湿度制限
	CE 登録マーク

表 1：国際表示記号

Nucleus は、Cochlear Limited の登録商標です。
ESPrít は、Cochlear Limited の商標です。

Nucleus® 人工内耳システムは、国際特許権を保持しています。

本マニュアルに記載された事項は、印刷の時点ですべて事実に基づいており、正確を期していますが、仕様は予告なく変更される場合があります。

© Cochlear Limited 2004 年

承認 番号 20300BZY00060000
 21100BZY00464000